

# 2018年度版 振袖トレンドアレンジ 要項

## (1) 課題の内容

- 振袖を着る世代の女子が思わず着たくなるようなヘアメイク、着付をアレンジし、豊かな発想の作品を作り、トータルバランスを競う。
- 振袖の品格を損なわない中でテーマに沿った作品を作ること
- 振袖の着物を使用すること。帯は振袖用の六通または全通の袋帯を使用すること。

## (2) 競技の方法

- ① セット・メイク・着付までを控え室にて行う。
- ② 審査はヘア部門の審査員と着付け部門の審査員が行い、トータルバランスを評価する。
- ③ モデルは人体とし、プロ・アマは問わない。
- ④ セットの選手・メイクの選手・着付の選手の3人までの参加も可（競技中の2人以上の同時施術不可）  
（助手も不可）
- ⑤ テーマに沿った作品を作る

## (3) 競技時間

控室にてヘア、メイク、着付を85分で行う。その後競技会場に移動し、最終の仕上げとポージングを5分で行う。

### 【控室にて85分の競技内容について】

ヘア・メイク・着付の中でどの順番で行い、どんな時間配分かも自由とする。

### 【競技会場での5分の競技内容について】

会場には椅子やテーブルの準備はありません。最終仕上げに必要なものを会場に持ち込み、手直しやポージングを5分で行うこと

## (4) 競技用具の準備 (選手が準備するもの)

- ① 振袖(重ね衿または比翼つき)
- ② 袋帯(六通または全通)
- ③ その他、長襦袢や肌着等、作品を作るのに必要と思う物(特に指定はありません)
- ④ 着付に必要な小物
- ⑤ ガウン、もしくはクロス
- ⑥ ヘア用具一式、髪飾り
- ⑦ 衣裳敷き(120cm x 180cm以内)
- ⑧ 衣装箱 (通常の衣装箱及びそれに準ずる箱。※プラスチックの衣裳ケースや手さげ型の衣裳ケースは除く※必ず持参し、縦44cm×横64cm×高さ25cm以内とする)

## (5) 着付け競技に関する注意事項

- ① グループで出場する場合、同時施術や、助手としての使用は禁止する。
- ② 競技終了後、選手はモデルに一切触れてはならない。
- ③ ポーズは自由とする

## (6) ヘア・メイクに関する禁止事項

- ① モデル自身による化粧施術と助手をすることを禁止する

(7) その他の注意事項

- ① 競技中に2人以上選手が、モデルに施術または触れることは禁止とする。
- ② 控室にはモデル及び出場者本人以外の立入りを禁止する。
- ③ 控え室、競技会場での電源は使用出来ない。コンセント不要の電気器具については使用を認める。  
(コードレスアイロン、充電式のコテなどはOK)
- ④ 控室には男性も出入りします。競技の順番にかかわらず、競技開始前にモデルさんのお着替えを済ませ、ガウンやクロスを着用した状態にしてください。
- ⑤ 背の高い草履やブーツなどを履かせる場合、控え室から競技会場への移動が困難な場合があります。あらかじめ低めの草履や靴を用意し、競技会場にて履き替えるなどして、モデルさんが安全であるように工夫してください。

【競技会場 たとう紙、衣装箱、選手靴、モデル草履の配置図】

